

## えがおになあれ

67

子どもたちが明るく元気に育つのを  
見ると、未来に希望を感じます。  
毎日を心豊かに過ごし、子どもも大人も、  
「えがおになあれ」…そんな願いを  
込めて、このコープを設けました。  
(出雲市要保護児童対策地域協議会)

### 子どもの人権SOSミニレター

子どもをめぐる人権問題は、いじめ問題への対応のあり方について関心が高まるなど大きな社会問題となっています。

松江地方法務局出雲支局では、子どもたちがお互いの違いを認め、お互いを尊重し、いじめ等で悩むことなく、夢に向かって健やかに成長していくことを願い、さまざまな活動に取り組んでいます。

取組の一つとして、「子どもの人権SOSミニレター」という名称の返信用封筒と便せんが一体化したものを全国の小・中学生の皆さんに配っています。寄せられた悩みや助けを求める声に対し、学校や関係機関と一緒に、子どもをめぐる人権問題の解決に当たります。出雲市内の小・中学校でも、各学校を通じて児童・生徒の皆さんに配っていただいております。

ミニレターは、悩みを声に出せない子どもたちを、一人でも救え



【小学生用のミニレター】

ば」という想いから始まったものですが、毎年、たくさんのレターが届いています。

送られてきたミニレターに対しては、子どもの希望に沿って手紙や電話などで返事を行っています。

また法務局では、電話やメールによる相談も受け付けています。

電話での相談は、

◎子どもの人権110番

☎0120-007-110

(全国共通、通話料無料)

相談時間は月曜日から金曜日

8:30～17:15です。

◎メール(子どもの人権SOS.eメール)での相談は、

「インターネット人権相談」で検索してください。

おたずね／松江地方法務局出雲支局

☎07732

## 子ども・若者支援センターからのお知らせ

出雲市子ども・若者支援センターは、不登校、ひきこもり、問題行動等、子どもや若者、その家族が抱えるさまざまな悩みの相談窓口です。

子どもに関する相談だけでなく三十歳代までの若者や、その家族からの相談に応じています。

また、青少年の健全育成の取組として街頭活動も行っています。

### 専任少年委員の活動

市では、子ども若者の見守りや街頭パトロールを行うため、専任少年委員として、3名を委嘱しています。主な活動として市内の大型ショッピングセンター、公園、駅など巡回し、子どもたちの安全のための声かけや見守り活動を行います。パトロールの状況について、関係機関への情報提供を行っています。その他、毎月一回、早朝に出雲市駅周辺であいさつ活動を行っています。



早朝のあいさつ活動(JR出雲市駅)



専任少年委員 左から 須佐さん、井上さん、渡部さん

### 出雲市子ども・若者支援センター

ヤッホーナヤム ナ

電話

0120-84-7867

相談  
時間

月～金曜日 8時30分～17時  
土曜日は事前予約による面接相談のみ。

# しゃべって みよう 仕事の話

## ～働き方改革って何だろう?～



そもそも「働き方改革」って何? 何のために改革するの? 雇用する側、される側、これから就職する人、育児や介護との両立に悩んでいる人、非正規雇用の人など、さまざまな立場の人が集まって「仕事」をテーマに“ワールドカフェ”形式で本音トーク!! 自分の、自社の「これからの働き方」について考えを深める絶好の機会です。

**日時** 3月10日(土)  
14:00～16:00(開場13:30)

**内容**

①ミニ講演  
「“家庭で誇れる職場”を目指して」

講師：藤井 和子さん  
(NPO法人CSいずも 穂なみ介護支援事業所 所長)

②ワールドカフェ

ファシリテーター：肥後 淳平さん  
(株)エブリプラン常務取締役地域政策部長)

**会場** 出雲商工会館 6F大ホール  
(出雲市大津町1131-1)

**対象** 企業経営幹部・人事担当者・雇用されている人  
学生・求職中の人・働き方について語り合いたい人

**定員** 60名(先着順) **託児あり** 申込締切  
申込締切/3月5日(月) 3月1日(木)

**申込** 「氏名・年代・電話番号」を明記し、くすのきプラザまでお申し込みください。  
TEL: 22-2055 FAX: 22-2157  
E-mail: women@local.city.izumo.shimane.jp

**主催** 出雲市男女共同参画まちづくりネットワーク会議  
出雲市

おたずね/くすのきプラザ(出雲市男女共同参画センター) ☎22-2055

### 出雲中央図書館講演会

# 「法月綸太郎の仕事術」

二転三転ではおさまらない“どんでん返し”の連続と衝撃の結末で、多くの推理小説ファンの心をつかんでほさない、法月綸太郎氏。

魅力的な作品の数々、創作活動のことなど、さまざまなお話を作者から聞く、贅沢なひとときを味わいませんか。

**とき** 3月10日(土)10:00～11:30(開場9:30)  
※講演後、サイン会があります。

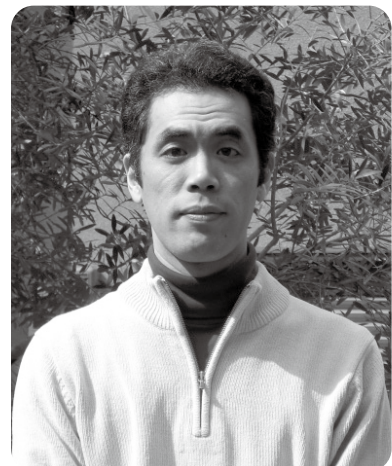
**定員** 100名  
(託児はありません)

**ところ** 出雲中央図書館 2階 多目的室

**入場料** 入場は無料ですが、整理券が必要です。  
※整理券は、2月3日(土)から、市内各図書館で配付します。

**講師** のりつきりん たろう  
法月綸太郎氏(ミステリ作家・評論家)

[プロフィール] 1964年、松江市生まれ、京都大学法学部卒業。1988年に『密閉教室』でデビュー。2002年、『都市伝説パズル』で第55回日本推理作家協会賞短編部門を受賞。2005年、『生首に聞いてみる』で本格ミステリ作家大賞小説部門を受賞。2013年、本格ミステリ作家クラブ第4代会長に就任(～2017年)。作品は広く評価され、国内外に多数のファンを持つ、新本格派ミステリの代表的作家。



おたずね/出雲中央図書館 ☎21-6826